

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2823	ライフハウス千種2	(株)生活科学運営	H28.12.26
評価機関	特定非営活動法人 福祉経営ネットワーク		H29.1.18

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	非該当	非該当
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	非該当	非該当
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	非該当	非該当
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	非該当	非該当
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	非該当	非該当
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	非該当	非該当
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	非該当	非該当
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	C
1.3.2	A	A	2.4.1	A	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	非該当	非該当
1.4.1	B	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	B	B
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	B	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.2	A	A	7.3.1	非該当	非該当
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	非該当	非該当
1.4.8	A	A	3.1.4	非該当	C	7.3.3	C	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	非該当	非該当
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	非該当	非該当
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	非該当	非該当
2.1.1	A	C	4.1.1	A	A	7.4.3	非該当	非該当
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	非該当	非該当
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	非該当	非該当
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	非該当	非該当
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	B
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	非該当	非該当
2.2.6	A	A	5.1.2	A	C	7.5.5	非該当	非該当
2.2.7	A	A	5.2.1	非該当	A	7.5.6	非該当	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	非該当	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	B	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	B	5.2.5	非該当	非該当	7.6.3	A	A
2.3.1	非該当	非該当	6.1.1	非該当	非該当			
2.3.2	非該当	非該当	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-1	法人全体研修として全職員・正職員・管理職・リーダー・プレリーダーの階層別研修制度が整備されている。ホームにおいては、職員と面談して、学びたいこと、ホームとして求める知識や能力をもとに、研修目標を立て職員一人ひとりの育成計画を策定している。計画に適した研修の情報を収集し、職員それぞれが学ぶ機会を提供している。また、主任・管理職候補者には、ホームから指名してプレリーダー研修に参加させている。
2-3-3	サービスの質を高めるため、ハウスリーダー会議で検討している。また、法人全体で業務改善を目的とした小集団活動（GA活動）で、職員が改善に取り組み、サービスの向上を図っている。ホームでは、住み替えについて、入居者の住み心地や満足度アンケートを実施し、結果について対応策を検討している。さらに、法人の全国大会で成果について発表する機会を設け、職員が意欲的に取り組む環境を整備している。
4-2-2	共用の多目的室やサークル室、シアタールームなどを有し、入居者が楽しむことができる多くの場所を提供している。さらに、年間を通じてさまざまな行事やイベントを計画しており、その都度開催責任者や担当スタッフにより行事起案書が作成され、計画的に実施している。実施後は開催についての評価がなされ、参加者の様子や次回行事実施上の課題を報告書に明記し、次の計画の際に役立てるよう取り組んでいる。
5-1-1	行事や祝祭日での行事食に加え、朝食は和食と洋食、夕食は魚類と肉類の選択食がほぼ毎日実施している。さらに、週に2回特別食と名づけた価格が少し高い食事を提供したり、サイドメニューとしておにぎりセットや丼物・カレー・鍋焼きうどんなどを準備している。入居者が要望に応じた食事を楽しむことができるよう毎日バラエティーに富んだ食事を提供しており、食の楽しさを演出している。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-1-1	法人の企業理念はパンフレットやホームページ等で明示しているが、ホームの運営理念は職員、入居者等に明示・周知されていない状況である。「いつまでも元気」「最後まで安心」「自由と楽しみ」をハウスコンセプトとしていることから、これらを運営理念としてホーム内の掲示や研修・会議での確認、ホームページへの掲載等により、入居者・職員に周知を図るよう取り組まれない。
2-4-1	入居者や家族等から金品の授受に関するマニュアルや明文化されたものは作成されておらず、職員研修等で周知を図っていない状況である。入居者との関係を損なわないよう、辞退する旨の掲示や原則受け取らないこととし、やむを得ない場合は受け取ったことをホーム長に報告し、取り扱いについて相談する等、取り決めを明文化するとともに、定期的に職員に確認する機会を設けられたい。
5-1-2	日々提供される食事に対する調査としては、法人で年に1回行う食事アンケートがあるほか、下膳担当職員を毎食時配置して、直接入居者の意見を聞き取っている。ほとんどの入居者が介護を必要としていないため、食事量や食後の残量確認は行っていない。入居者の嗜好や味付け、かたさなどさまざまな要因により残量が増えることと思われる。おいしい食事の提供で楽しみを創出させるためにも、残量チェックの実施に期待したい。
7-5-3	住宅型ホームであり、多くの入居者が介護を必要としていないが、杖やシルパーカーなどの福祉用具は活用している。職員が相談にのったり福祉用具の業者が介入して、その人の状態に即した用具を選定しているが、入居者の身体や状態に適しているかのモニタリングは行っていない。今後は、さまざまな福祉用具の導入に際してできるだけ職員が相談にのって、後日確認が可能となるよう経過記録の備置が求められる。